

インターバンクの声（2017 年 12 月 21 日）

昨晚のニューヨーク市場の終盤によく 113 円 47 銭までドル買い・円売りが進んだドル円は、米税制改革法案の成立と米 10 年債利回りが 2.50% 近くまで上昇となれば、もう少しドル高になっても良さそうではあるが、ちょっとタイミングが悪かったかも知れない。やはりクリスマス休暇前で、しかも年末が迫り、オプション取引などもこの時期には権利行使日を設定しないとあつて、無理にポジションを膨らませるようなディーラーも少ない。全体に市場参加者が減れば取引も細ってしまうのは仕方ない。動きがゆっくりとしたドル円よりもユーロの取引に手を伸ばす人も少なくないが、こちらでも欧州債の売りによるユーロ金利の急上昇に合わせて短時間で 50 ポイント程度急上昇するようなプロ相場の様相になっていることもあり、この時期の安易な参入は危ない。はっきりとした相場観がなければ、27 日のクリスマス明けから改めて相場に向き合うことにしても良いかも知れない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。